

板倉てつおの 4つの提案

こうなったらいいと思いませんか？

① 町民と議会が協働するまちおこし

今の政治にとって必要なことは、誰も体験したことのない、人口減少社会、超高齢化社会への対応です。そのために、有権者と議会、行政が寄り添い、知恵を出し合い、協働する仕組みができればよいのではないのでしょうか？

具体的な提案

- ・積極的に議会に参画できる仕組みづくり
- ・政策立案に向けた意見交換会の開催
- ・SNS等、情報発信による議会活動の可視化

これまでの成果

- ・子供も傍聴可能になるなど傍聴規則の改正
- ・議会報告会におけるワークショップの導入
- ・議会の動画の放送（現在協議中）

たった13人の議員だけでは
まちおこしはできません。
皆様のお力をお貸しください！



② 行財政改革および行政と住民の協働推進

人口減少に伴い、税収の減少が予想されます。おのずと行政職員も減少せざるをえません。一方で、超高齢化社会の到来により行政の業務量は増えていきます。

こうした状況に対応するには、ITやAIを駆使した行政の効率化を図る必要があります。さらに、住民と行政の連携・協働を深め、住民が積極的にまちづくりに参画する体制が必要だと思えます。

具体的な提案

- ・慢性的な財政赤字の解消
- ・タブレットやクラウドなどIT活用による業務効率化
- ・行政が本当にすべき仕事の見極め
- ・サルタフェスタなどイベントへの協賛金の募集
- ・職員の計画的、段階的な削減
- ・公務員の副業解禁による地域貢献活動の活性化

これまでの成果

- ・パブリックコメントの制度化
- ・町公式 LINE 開設
- ・タブレット議会の実現

③ 担い手育成と町内経済循環の向上

基幹産業における担い手の高齢化が進んでいます。一方、都市在住でU/Iターンを希望している人が数多くいます。両者のマッチングが求められていると思います。

また、持続可能な地域づくりのためには、町内のそれぞれの産業において、お金の好循環を創出する必要があります。

具体的な提案

- ・移住者用住宅整備の推進
- ・町内企業合同説明会の開催
- ・商業、農業の事業承継推進
- ・電子地域通貨、電子商品券の発行
- ・給食の自給率向上
- ・バイオマス熱エネルギー利用促進

これまでの成果

- ・地域経済循環促進にむけたまちづくり公社の事業化

④ 赤ちゃんからお年寄りまで 安心して暮らせるまちづくり

かつてないレベルの少子高齢化社会を、みんなが安心して暮らしていくには、結婚支援、子育て支援、教育への支援が必要です。さらには、高齢者がいつまでも自立して暮らしていけるように、高齢者向け住宅整備などが必要です。

また、日常時だけでなく、災害への備えも必要だと思います。

具体的な提案

- ・新婚家庭への経済的支援
- ・育児支援の拡充（特に第三子以降）
- ・中学生、高校生への定期的学習支援
- ・高千穂高校の魅力向上
- ・高齢者向け住宅の整備
- ・町内指定の全避難所へ無線LAN設置

これまでの成果

- ・高校魅力化の事業化
- ・小中学生1人1台のパソコン整備

